

笹本石材株式会社 代表取締役

## 笹本 辰男氏

Vol.  
29

### 会社概要

- 所在地／鹿嶋市宮中1-10-10
- TEL／0299-82-1548
- 業種／霊園、墓石、仏壇販売
- 従業員／30名
- HP／<http://www.sasamotosekizai.com/>



## 長期の安定経営に 新ビジネスを加え、取り組む

### 今年は創業142周年

坂寄 インターネットで拝見しますと、創業は明治初年、ずいぶん長い社業を誇りますね。

笹本 当社は明治3年、水戸の石工職人だった初代大澤辰之助が鹿嶋神宮の石工事に携わったことからはじまりました。笹本家に養子縁組し笹本辰之助と名乗り、笹本石材店を開いたのが店の起こりです。鹿嶋神宮の石工事がなかったら私たちは今のよう石屋をやってなかったかもしれません。

今年は創業から142年目にあたり、私で5代目となります。2代目勝造は、町議会議員を歴任し、47才の若さで亡くなりました。3代目は栄一で私の父です。町議会議員を4期務め、1期目から鹿嶋開発議員、2～3期目では議長、4期目半ばで助役になり2期務めました。4代目勝己(現会長)は観光協会会長、鹿嶋神宮総代等で活躍中、私とは11歳違いの兄です。末弟の私をかわいがってくれました。

坂寄 創業時の社名は何と言う

のですか。

笹本 最初から「笹本石材店」と言っていましたね。昭和57年に組織変更して笹本石材店は株式会社になりました。この時4代目社長として笹本勝己が就任したのです。翌58年には業務拡張のため本店を増築し、300坪の3階建社屋になりました。庭は展示場として使っており1500坪あります。

坂寄 社長が笹本石材店に入社したのはいつですか。

笹本 大学を卒業と同時に、昭和50年4月、22歳で家業に入りました。「鹿嶋開発で忙しくなるから、お前の手を借りたい」との兄の強い誘いでした。入社の日から現場作業に参加し、切削、磨き、文字彫りなど墓石の加工全般に従事したあと、現場での据え付け作業など営業と現場一切のスケジュール管理を担当して、57年専務取締役役に就任しました。平成17年10月に代表取締役社長に就任して現在に至ります。

### 鹿嶋開発で拡大する社業

坂寄 鹿嶋開発と言えば、鹿嶋灘の海岸で貝拾いをする老婆を見て開発の必要性を思い立ったという物語は有名ですね。

笹本 昭和35年「農工両全」と「貧困からの解放」をスローガンにしてスタートした鹿嶋開発は岩上二郎県知事の夢実現プロジェクトでした。県と国が一体となって推進し、衆議院議員橋本登美三郎先生の力も大きかったと思います。30万人都市構想のもとで、その恩恵を受けて不動産の売買も行われ、商業の発展もはかられました。現在鹿嶋、神栖両市の人口は合わせて16万人となっています。平成22年に施工された鹿嶋開発50周年記念行事で、当社は記念碑の建立にも貢献しました。

ここ鹿嶋は陸の孤島と言われていましたが、海岸線に港を造るという「鹿嶋開発」の構想が世に出て、壮大なプロジェクトがすすめられました。私の父もその一翼を担った1人ですが、古くからの鹿嶋神宮に加えて鹿嶋臨海工業地帯と鹿嶋港、この20年では鹿嶋アントラーズの

活躍で更に鹿嶋の知名度を高めています。

海と森と湖の豊かな自然に囲まれた鹿嶋市は生き生きと活気に満ちた町になりましたね。

**坂寄** 笹本石材店への影響も大きかったのでしょうか。

**笹本** 鹿島開発の進展に合わせて、当社の事業も拡大しました。墓石事業は創業時からですが、昭和50年には石材業界では最初の仏壇・仏具の販売を始め、霊園事業に取り組みました。人が亡くなれば仏壇・墓石という日本の文化に根付いた商売を続けてきました。安定した確実な商売ということが出来ます。この商売を選んでくれた先祖に感謝しております。

## 霊園ビジネス

**坂寄** 仏壇仏具の扱いと霊園ビジネスで、笹本石材店の事業構成も変わりましたね。

**笹本** 創業以来墓石がメインの商売でしたが、現在は仏壇と霊園販売も戦力になっています。業務の拡張によって、香取市に佐原店、稲敷市に東店を出店しました。霊園は千葉県銚子の外川霊園、森戸霊園、鹿嶋の北浦霊園、宮中墓苑等各地に大小の霊園があり、お客様の予算にあった墓地を提供しています。土地と墓石と納骨堂一式で1区画55万円から用意しています。

お墓の売り方には2つあっ

て、1つは個人のお墓でいわゆる「〇〇家の墓」というもの。2つ目は「永代供養墓」というものです。独身の人とか夫婦で子供のいない人等が相談に来ています。年に一度、宗派を超えて合同慰霊祭を行います。屋根中央に観音様を据え、座した下に石のお堂を築きまして、お骨を柵に33年間安置供養するもので、期間経過後は石堂の中央に有る五輪の塔内に合祀いたします。

最近では樹木葬とか樹林葬と言って、芝生の中央にマンホールを置き、その中に散骨するという形式です。死後は骨壺ではなく自然に帰るという思想です。海洋葬というものもあります。海岸から何キロ先という制約はありますが、海に流すというものです。宇宙葬というものもあるそうです。100キロ、200キロ上空で散骨し、地球をぐるぐる回った後で地球に帰るとき燃え尽きるもの。予約受け付けを始めたとか聞きました。

## お墓の移転と供養産業

**坂寄** 先祖のお墓を守るということはいろいろと大変なことがあるのでしょうか。

**笹本** 鹿島開発でここに移り住んだ大勢の人たちは、北海道や九州にご両親の墓を持っています。子供たちにとっては鹿島が故郷ですが、お父さんとお母さんにとっては祖先のお墓のあるところがやはり故郷なんです。お墓を守るために遠いところを歩き来しますよ。このギャップを解決するために、私は「改葬」を提案して、市内の墓地・霊園へお墓を移転することを勧めています。高額な商品ですが、亡くなった人を供養する

という10年先、100年先のことを考えて、お墓の移転ということを考えるべきだと思います。

お墓、遺骨の移転(改葬)については、こんなアドバイスをしています。各市町村から改葬届を頂いて必要事項を記入して管理者に届け、市町村長の印をもらって移転先の霊園に提出します。御先祖様のお墓を移すということは気が重いの、悩むものですね。どうしていいかわからないということも一因でしょう。私は手続きを紙に書いて渡しています。

**坂寄** 春秋のお彼岸や法事の度に北海道や九州行きは大変ですし、普段の墓守りもご苦労です。

**笹本** 墓争いの話もあるんですよ。あるお客様の話で「俺と兄貴で墓を建てたようになっているけれど実際は俺が金を出したんだ。義姉さんたちは別に墓を建てて出て行ってくれ」と追い出しにかかった弟がいるそうです。死人に口なしで兄嫁は出て行ったといいます。お金を出したのは誰か、も大切ですが、お墓をこれから守っていく人は誰なのかを良く考えてもらいたいです。墓争いを避けるために、墓石の建立者は先々を考えて名前を入れることが大事です。誰が跡継ぎなのか、誰が墓を守るのかを考えることです。

先日子供さんのいないご夫婦がこんなことを言い合っているんですよ。「お父さん、怒らないで聞いて下さいよ。お父さんが先に死んだら、お父さんの葬式は私がやりますけど、後になった私の葬儀はだれがやってくれるんですか。笹本さんやってくれないかしら・・・？」私が葬儀をやることは出来ませんので、『独居老人の死亡にはど



鹿嶋市の本社社屋

のように対処するか』市へ問い合わせしましたところ、「契約している霊園名を紙に書いて、笹本さんよろしく」と民生委員に頼んでおくようにとのことでした。

供養産業の担い手としてお客様のご満足をいただけるように誠意を持って取り組みたいですね。

### 中国産墓石は花盛り

**坂寄** 墓石はやはり真壁産中心ですか。

**笹本** 国内産の墓石は近年とみに高価になっていますので、中国から運んできます。世界の石材が中国に集まってきて、加工されます。日曜日に廈門港を出たコンテナ船は木曜日に横浜港に着きます。通関手続きを経てコンテナ船から荷下して、トレーラーで運輸会社の流通センターに運び、土曜日には鹿嶋に着きます。1週間で組み立てて据え付け、これの繰り返しを続けています。

中国福建省泉州市宗武という所は「中国の真壁工場」と言われるほどで、1000軒を超える石屋さんがひしめいているほりっばい町です。ここの石屋さんは高い加工技術を誇り、細かいところを丁寧に加工してくれます。しかしご多分にもれず労働賃金は倍になって、安い製品ではなくなってきました



本店1Fに並ぶ仏壇・仏具

た。これからは「中国産は安い」と期待しない方がいいですね。

“この御影石はどこ産ですか。”とお客様からよく聞かれますが、私は「made in地球です」と答えることにしています。日本の三大産地と言われる真壁、岡崎、高松の石は良い物がありますが、中国産でももっといいものがありますよ。最近では世界の石が中国に集まっています、もちろん日本産も行っています。鉱物ですから日本でも中国でもいいもの、悪いものがあります。要はどう見極めるかですよ。

**坂寄** パートナーの信頼もありましょね、

**笹本** 中国国営企業の鉱山会社で石材部門に籍を置いた人が25歳で独立したときから、当社はかれこれ20数年間取引が続いています。長年の積み重ねで納期や品質などについては絶対的な信頼のもとで取引をしています。その方とは家族ぐるみでお付き合いをされていて、年2回ほど行き来しています。外国取引は信用状の発行が必要なのですが、当社は信頼し合い信用で保険も不要です。こんな例は他にはないようです。

### 3.11東日本大震災時の対応

**坂寄** 昨年の3.11東日本大震災の後はお墓の石が倒れているのをよく見かけましたね。

**笹本** このあたりも大きな被害が出て、墓地では墓石が倒れたりずれたりしました。1週間後に春のお彼岸を迎える時でしたから、出来るものは大急ぎで無償で修復しました。困っている時に人の弱みに付け込むような事はしまいと心に思い、今までお世

話になったことを考えて無償で修復に取り組みました。職人さんたちには夜遅くまで仕事をしてもらい、会社でおにぎりを用意して対応しました。何しろコンビニでおにぎりも菓子パンもなかった時がありましたから。

先祖が築いてくれた信用を損ねてはいけない、との一心からへとへとになるまでドロドロになって働きました。職人たちにも同じことを求めました。今になって思い返してみるとよくやったなあ、頑張ったなあと感慨深いものがあります。

**坂寄** 鹿島神宮の大鳥居が倒れたとも聞きましたよ。

**笹本** そうでしたね。鹿島神宮のご用達を承る当社としては、完全に崩落した大鳥居や倒れた灯籠を、奉仕で処理させていただきました。

### 社員への思い

**坂寄** いま従業員は何人ですか。

**笹本** 社員は現在30人です。支店長、営業、現場、事務兼販売、霊園管理などの職種になります。

**坂寄** 一人ひとりの社員にどんなことを期待しますか。

**笹本** 基本的には現場で働く職人さんの一人ひとりが「社長」なんですね。社長の気持ちになって仕事をしてくれたら一番です。「お宅の職人は良く働くね」と言われたときのうれしさは格別ですよ。お茶をやってください、と言っても休まない職人さん。5時で切り上げれば明日また来ることになるが、あと1時間だから今日仕上げたおもう、と言って頑張ってくれる職人さん。お客さんは良く見てくださっていますね。

**坂寄** 社員の皆さんとはどんなことを話しますか。

**笹本** 当社では朝礼の時に毎朝お経を読んでから仕事を始めるんですよ。現場の職人さんはもとより、全社員が般若心経を唱えさせて頂いています。「俺らの頭でお経なんか無理だよ」と言っていた人たちが、1か月後にはみんなできるようになりました。亡くなられた方へ供養の気持ちを持ってお経を唱え、仕事をさせていただいております。

朝礼のもう一つのプログラムは、倫理法人会の「職場の教養」誌を使って、全員が参加して読み合います。輪番制で一人が読み、他の1人が感想を述べるというやり方です。「どんなことでもいいから、感想を述べてください」とね。誰に当たるかわからないのでみんなドキドキしているんですが、「これからもお客様に感謝されるように仕事をします」などと言ってくれるとうれしいですね。

「職場の教養」誌に書いてあることは社員の倫理観を高めるのにも役立ちます。私も反省を含めて「こうしなければいけないね」と言うと、みんなもよく聞いてくれるんですよ。上から物申すことはなかなか聞きづらいですからね。

**坂寄** どんな趣味をお持ちですか。

**笹本** 年中無休の毎日で、趣味と言えるほどではありませんが「弓道」を楽しんでいます。鹿島神宮やスポーツセンターの弓道場で弓を引くとき、的に向かって自分との戦いを感じます。心技体が一つになっていい射が生まれるとき、見る人を感動させます。

### 私の経営論

**坂寄** 景気の良し悪しは、お店の売上に影響しますか。

**笹本** やはり影響しますね。今は本業をおろそかにせず、内容の充実を期していきます。世の中の具合が悪い時には、いたずらに事業の拡大を求めません。基本に戻ろうというのが今の経営姿勢です。当社には特許製品が何点かあり、他社との差別化を図っています。そういうものをさらに充実していければと考えています。

社員へのボーナスなども、きちんと払います。上げることはなかなかできませんが、減らすことはしません。月々の給与は生活給ですが、ボーナスは生活への潤い給と思います。いろいろ楽しみな使い方がありませんから、これを奪ってしまうわけにはいきません。現在の社員を精いっぱい幸福にすること、これが私の願いであり、私の課題です。経営の方向性を間違わず、コツコツと日々努力することが大切だと思っています。他から攻められてもびくともしない経営を続けたいものです。経営は続いていくものですからね。

**坂寄** 入社以来、仕事を通じて得た喜びと苦しみはいろいろあるのでしょうか・・・。

**笹本** 私は昭和27年5月23日の辰年生まれで今年還暦なんです。この38年間の思い出はやはり現場での作業ですね。炎天下の作業で、ペットボトルの無い時代にのどの渇きに耐えかねて泥水を飲んだこともありましたよ。現場体験と言うのは大切なことで、炎天下の仕事を体験してきたことで職人さん達への思いやりが出来るのです。“暑かったね”と帰ってきた職人さんへ“今日は幾分涼しかったよ”と返したら腹がたつものですよ。やはりここは「炎天下だもんね、暑かったろう。ご苦労だっ



特許製品のひとつ「摩尼車ひびき」

たね」と言ってやりたいものです。**坂寄** 後継者についてはいかがですか。

**笹本** 会長の息子、私の甥っ子ですが、現場体験をしたあと今は営業部門にいて、すでに専務として頑張っています。

**坂寄** 経営者の信条として、肝に命ずることはどんなことでしょうか。

**笹本** 何でも同じでしょうが、正直が一番ですよ。いい加減なことをやってはいけない。これをだまそう、あれを言い換えようと思っていると、言いわけだらけになるものです。

書家の書いた紙を墓石に貼ってその通りにコツコツとノミで文字を掘っていた父の口癖は“直すは一時の恥、直さざるは一生の悔い”というものでした。彫った石は永久に残るものですからね。貴重な父の教えです。

**坂寄** 私たちも心しないといけないことですね。静かに語る笹本社長の一言ひとことが身にしみて伝わってきました。ありがとうございました。ご健勝とご発展をお祈りいたします。

聞き手は嘱託会報編集担当  
坂寄賢治

## 鬼澤邦夫経協会長が議長に就任

### ～副知事、商工労働部次長が講演・意見交換を行う～

茨城産業会議(鬼澤邦夫議長)は、7月12日(木)、水戸市・三の丸ホテルで本年度第1回目の総会を開催した。



まず、鬼澤議長が「6月11日の経営者協会の定時総会にて関正夫会長の後を受けて会長に選任され、経営者協会の会長が、茨城産業会議の24年度の議長をお引き受けするということで、議長をお受けさせていただいた。さて、改めて申し上げるまでもなく、本会議の目的は『県内産業経済界の重要な問題について意見を集約するとともに、必要に応じて提言および啓発活動を行うこと』とされている。基本は各構成団体が主体的に活動を展開することであり、重要性と必要性がある場合において茨城産業会議として行動するということであるが、歴代議長そして皆様のご尽力により茨城産業会議の認知度も高まり、各方面からの期待も高まっているなかで、必要性があれば行動するというスタンスだけでは済まされなくなっている。とにかく、精一杯努力して役割を果たしたい。よろしくご協力とご支援をお願いしたい」と新任の挨拶が述べられた。

議案審議に移り、平成23年度の事業活動報告及び収支決算、平成24年度の活動方針と収支予算案が承認された。

毎年秋に実施している茨城県政への提言・要望

事項の取りまとめを行う企画調整委員会については、委員長に佐藤修二氏(当協会副会長)、副委員長に山口雄三氏(商工会議所連合会副会長)が就任することが報告された。

事業活動としては、常磐線東京駅乗り入れ促進に加えTXの東京駅乗り入れに関しても推進協議会等への協力を行っていくこととなった。

続いて、副知事の榊真一氏より「つくば国際戦略総合特区について」、県商工労働部次長の松下博充氏より「商工労働部の主要施策について」と題して説明がなされた。



その後、意見交換では、政策課題への対策についてや県施策の産業界へのPRの強化、茨城空港の利用促進等の意見がだされた。

榊副知事からは茨城空港と沖縄便が期間限定ながら就航している。産業界にも利用促進に協力願いたいとの要請がなされた。

茨城産業会議は、茨城県経営者協会、茨城県商工会議所連合会、茨城県商工会連合会、茨城県中小企業団体中央会の4団体で構成。常陽地域研究センターが協力団体として参加し、産業政策やインフラ整備、地域問題など重要事項について経済界の意見を集約し、提言をしております。また、大学との産学連携事業や各種団体との関係強化を図っております。平成18年度より当協会が事務局となっております。ご意見等がございましたら事務局までご一報ください。

事務局：茨城県経営者協会内(澤畑、加藤、米川)  
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109

## 研究会「TPPセミナー」を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店代表取締役社長)は、7月23日(月)、茨城県産業会館大会議室において、日本経済団体連合会国際経済本部の金原主幸本部長と農林中金総合研究所基礎研究部の清水徹朗部長の両名を講師にお招きし、TPPセミナーを開催した。参加者は45名。

開催にあたり西村支部長より「去る7月9日に、政府は8月中にもTPP交渉参加を正式に決定し、米国等関係9カ国に通告する方針を固めたとの報道があった。これから更にTPP参加をどうすべきか、国民的議論が活発になるだろう。講師のご両名は、TPPに造詣が深い方々であり、それぞれの着眼点から、日本の抱える課題に焦点を当て、学ばせていただきたい。」と主催者挨拶が行われた。

講演では、まず金原本部長よりTPP参加推進派の立場として「日本がTPPに参加すべき理由」と題してご講演をいただき、今までの自由貿易協定とは異なるTPPの特徴や、TPP参加により期待されることなどを学ばせていただいた。

質疑応答では、「これまでの交渉内容がよく分からない部分が多い中、参加を急ぐ理由を伺いたい」との質問があり、金原本部長からは、「参加国それぞれの事情がある中、全く同じ条件でやろうという事は考え難い。すり合わせが行われるはずである。ルールが出来てから加入するのではなく、今、そのすり合わせに参加し、交渉の場で意見すべきである。」との回答がなされた。

また、「国独自の規制が設けられなくなる懸念があるのではないか。」との質問に対しては、「TPPで交渉項目に挙がっていない事を懸念されているケースは多い。国家主権に関わる問題については、TPPで侵される事はない。万一、交渉に挙がってきて、そこで拒絶すれば良い。」との回答がなされた。

次に、清水部長よりTPP参加慎重派の立場と

して、「TPPと日本の食料・農業」と題してご講演をいただき、これまで日本が行ってきた関税の引下げ交渉の歴史やTPP参加が日本の農業に与える影響に対する懸念などを学ばせていただいた。

質疑応答では、「関税撤廃による食料自給率の低下が、資料では現在の40%から14%になると記載されているが、これはTPPに参加した場合を想定したのではなく、単純に現在ある全ての関税が撤廃されたケースでの数値ではないか。」との質問があり、清水部長からは、「資料の数値は、ご指摘の通り全関税撤廃の場合の数値であり、TPPに参加するだけでは、これほど大きく下がらない。特にジャポニカ米については世界における生産量を鑑みれば、輸出に充当できる余力量は、200万トン程度と思われ、日本の生産量800万トンに対して、生産量減少率△90%は過大だと思う。ただし、TPP参加により、タイなど既にFTA締結している国からTPPに合わせたFTAの見直しを求められる可能性もあり、TPP参加が食料自給率を押し下げる要因になることは触れておきたい。」との回答がなされた。

以上でTPPセミナーは散会となった。なお、参加者からは、「TPPについて異なる考えを持つ方々から話が聞けて、深い理解ができた。」「両講師とも、論点が明確であり、理解し易かった。」「営利企業による農業への参入について詳しく聞きたかった。」などのご意見をいただいた。



## 政策委員会

平成24年度重点事業の進捗を報告

7月27日(金)、第1回政策委員会(正副会長、各支部長、各委員長等協会主要役員)が、水戸市三の丸・水戸京成ホテルにて開催され、平成24年度重点事業の進捗状況と取り組み方針について意見交換が行われた。



会議では、鬼澤邦夫会長((株)常陽銀行代表取締役会長)が「関前会長の後を受け、会員の期待に応えられる経協、内外から信頼される経協を目指して全力を尽くしたい。皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶。

事務局より会務報告、今年度重点事項の求人就職支援サイト(就職MAP)の運営事業、大学への寄付講座実施状況、環境問題への取り組みと行政施策への提言活

動、ものづくり企業交流会、組織活動など各事業分野についての進捗状況報告・意見交換がなされた。

その中で、各ブロック経営者懇談会については会員が参加しやすくするようブロック(支部)組合せの再検討を行なうこととなった。また会員増強については、各地区支部1社純増に向け推し進めていくこととなった。

県政に対する提言・要望活動への取り組みについては、経協の取り組み(会員ニーズ調査の実施状況、今後のスケジュール)、茨城産業会議の取り組みが報告された。

## 経営教育委員会

国内企業視察会を開催

経営教育委員会の中小企業部会(部会長 塚田長剛氏 (株)古河第一自動車学校代表取締役社長)は、7月5日(木)～6日(金)にわたり、「独自性にこだわる企業に学ぶ」をテーマに、静岡県浜松市およびその周辺において国内企業視察会を開催した。参加者は事務局を合わせ15名。

初日5日は浜松駅に集合後、磐田市に立地する浜松ホトニクス(株)豊岡製作所を訪問した。電子管総務部の大石雅史氏に迎えられ、同社の会議室にて同社の沿革などの資料を拝見しながら、光の技術集団として歩み続けるため、従業員全員が研究開発者をモットーに、世界で同社しか出来ない事を追求している同社の状況を伺った。高速・高感度の光センサとして、医療・

学術から産業分野まで応用範囲を広げる光電子倍增管は、ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊東京大学特別栄誉教授の素粒子観測施設“カミオカンデ”その後継の“スーパーカミオカンデ”に11,000個以上も使用され、その全てが豊岡製作所で製造されている。また、先ごろ存在が確認された“ヒックス粒子”を発見するための装置にも同社の製品が使われているとの事である。

ご説明をいただいた後、同社の工場へ移動し光電子倍增管生産設備など、他社の追随を許さない独自性の高い製品が生み出されるラインを拝見した。

6日の午前中は、浜松市にある本田技研工業(株)浜松製作所を訪問。総務グループの内山麻理奈氏よ

り、Honda発祥の地で、四輪車用自動変速機、無段変速機を製造、鈴鹿、埼玉の両製作所をはじめアメリカやヨーロッパの現地工場に製品を供給している同製作所の状況を伺った後、生産現場とは思えないほど整然と管理された製造ラインや環境に配慮した施設などを見学。本田総一郎氏が汚れが目立つよう白にこだわったという制服のクリーニングを専門に行う施設も見学した。見学後には、総務グ





ループリーダーの山村秀哉氏に質問に丁寧に対応いただいた。

午後には、創業者の鈴木萬司氏の音楽への想いが随所に感じられる(株)鈴木楽器製作所を訪問。同社オリジナルの“メロディオン”の開発秘話やハーモニカ業界の状況について執行役員グループ総務部長の仲村圭司氏よりご説明いただいた後、薄く削られた板からリードの形に打ち抜く際に、打ち抜く位置

の100分の1ミリ単位の精度が求められるハーモニカ製造ラインを見学した。

視察の最後には、銘酒“出世城”の醸造元であり、明治時代の蔵をギャラリーやショップとしてリニューアル、地元の展示会やイベントスペースとして活用されている浜松酒造(株)を訪問、専務取締役の中村淑氏からお話を伺い、交流を深め散会した。

## 経営教育委員会

### 第3回マネジメント力向上研修がスタート

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行 代表取締役副頭取)は7月11日(水)、水戸プラザホテルにおいて第3回マネジメント力向上研修をスタートした。

本コースは過去2年間、管理者研修プログラム(MTP: マネジメント・トレーニング・プログラム)に準拠し、管理的立場ある方及びこれから管理職になる方を対象に、マネジメントに欠かせない「マネジメントの原則」の習得とスキル向上を目

的として開催したが、3回目を迎える今年度は、監督者、職場リーダーの基本教育であるTWIの4技能の1つであるJR(人への接し方)に基づき、部下の協力を得て成果を挙げるための手順と問題を未然に防ぐ、問題が起きた時の処理について3回シリーズで事例を中心に学んでいく。

1回目は人間関係を良くするための基本心得や個人の理解、2回目に人の問題の処理の仕方



を具体的な事例を通じて追求する。3回目は部下指導のスキルとして、コーチングとリーダーシップを学んでいく予定である。

## 経営教育委員会

### 第2回 第一種・第二種衛生管理者受験対策講座を開講

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行代表取締役副頭取)は7月24日(火)～25日(水)の2日間、水戸プラザホテルにおいて、衛生管理者受験対策講座を実施した。参加者数は第一種が40名、第二種が15名の計55名。

2010年に続き2回目となる同講座は、第1回に引き続き、指導が分かり易く参加者から好評だった(株)ウェルネット・柴田珠美氏を講師にお招きし、

第一種は丸2日間、第二種は1日半かけて指導いただいた。

講義は、過去の傾向を分析し出題されやすいポイントを中心に、用語の意味や規則が成立した背景を踏まえながら進められるため、単に丸暗記をして試験に臨むよりも、日常業務との繋がりをイメージし易く、参加者自身の理解をより深めることができる。

参加者からは「全体のポ

イントを掴むことができたので、再度講義内容を整理・確認しながら試験当日を迎えたい」との感想が寄せられた。





産業政策委員会（委員長 深澤正勝氏 日立セメント（株）取締役専務執行役員）は、7月2日（月）、三の丸ホテルにおいて、第1回産業政策委員会を開催した。

開催にあたり、深澤委員長より、「今日は、会員ニーズ調査アンケートの方法や内容について協議を行う。事務局からの説明を踏まえて、改善すべき点があ



れば、積極的なご発言をお願いしたい。」と挨拶があった。

議事では、平成23年度の委員会活動報告、茨城経協の定時総会開催報告に続き、今年度の会員ニーズ調査案について協議が行われ、事務局案通り承認された。

議事終了後、榊真一茨城県副知事と横山仁一茨城県商工労働部長を講師にお招きし、講演会を開催した。榊副知事からは「元気な茨城づくり 茨城県総合計画～いきいきいばらき生活大県プラン～」と題して、また、横山商工労働部



長からは「茨城県商工労働部の平成24年主要施策について」と題して、それぞれご講演をいただき、参加された会員51名は、熱心に耳を傾けていた。

講演会終了後には、榊副知事、横山商工労働部長を交えて懇親会を開催し、参加者は和やかな雰囲気の中で交流を深め、散会した。

## 労働企画委員会

### 24年度事業の進捗状況について報告

労働企画委員会（委員長 稲垣直人氏（株）日立製作所電力システム社日立事業所副所長）は、7月11日（水）、経営者協会会議室において第1回委員会を開催した。

主な報告・協議事項は、①定時総会開催報告、②県内の労働関係情勢について、③労働関係事業の進捗状況について、であった。

はじめに稲垣委員長が「本日の会合は、本年度の委員会活動を皆様のご意見をもとに、より良い内容にすることが目的でありますので、ぜひ忌憚のないご意見を頂きたい」と挨拶をされた。

労働関係事業の進捗状況については、以下のような意見が出された。

○委員会で企画している労働

組合対応セミナーや労働時間管理セミナー等を、会員企業は当然であるが、広く非会員企業にも参加して頂くための取り組みを検討して頂きたい。

- （非会員企業に）広く協会活動に参加して頂くために、最低会費4万8千円がネックとなっているのであれば、見直すことも検討すべきではないか。
- 採用支援サイト「就職MAP」の閲覧数は、せめて万単位が必要ではないか。
- 採用情報をより中小企業の方々に使用して頂くためには、各企業の取引先グルー



プ等を活用することも考えられる。

- 若手の人事労務担当者のための勉強会は、ディスカッションの質を落とさぬように、アドバイザーの安田先生とよく協議を行って頂きたい。

採用支援サイトの閲覧数の増加策、および新規掲載企業の募集については、次回委員会で協議することとなった。

環境委員会（委員長 成田昇氏 キヤノンエコロジーインダストリー（株）代表取締役社長）は、本年もISO14001・9001内部監査員養成研修会をスタートした。同事業は、ISO14001・9001両規格の内部監査員を養成する2日間の研修で、年3回ずつの開催となる。

講師には、分かり易い指導が



参加者からも好評の（株）ニコン ビジネススタッフセンター 品質・環境管理部規格認証システム課の高橋清氏、増田勝彦氏、野島俊氏の3名に担当いただいている。

研修初日は規格概要や監査員の役割と監査の進め方について理解を深める講義形式、2日目はグループに分かれ、ロールプレイングが進められるもので、特にロールプレイングのケーススタディがより実践的であり、回数を重ねながら理解を深める進め方のため、参加者からの評価も高い。今後の予定については下記をご参照下さい。

【今後の内部監査員養成研修会の予定】

■ ISO14001 内部監査員養成研修会

①平成24年9月6日（木）～7日（金）の2日間

②平成24年12月6日（木）～7日（金）の2日間

■ ISO9001 内部監査員養成研修会

①平成24年10月25日（木）～26日（金）の2日間

②平成25年1月17日（木）～18日（金）の2日間

※上記研修は何れも9:00～16:30、場所は県産業会館会議室で開催。詳細は担当：米川、澤畑（英）、薄井までご連絡下さい。

環境研究会

リーテム・水戸工場、ニコン・水戸製作所を見学

環境研究会（代表幹事 神田和義氏（株）日立製作所電力システム社 環境管理センタ主任技師）は、7月20日（金）、環境に配慮された経営を学ぶ機会として、環境見学会を開催した。

本見学会は、環境研究会のメンバー会社である“リーテム・水戸工場”および“ニコン・水戸製作所”を訪れ、両社が日頃から取組まれている環境対策などのヒアリングと現場を見聞

した。

最初に訪れた「リーテム・水戸工場」では、はじめに、環境研究会幹事会社で同社の執行役員水戸事業部長 大川氏のご挨拶後、会社概要と施設をご案内いただいた。リーテム・水戸工場は、1970年に稼働した総合廃棄物処理工場。高性能特殊破砕機、切断機等の設備を有し、大型産業機械から小型電子機器まで多様な産業廃棄物を高効率、高品位で再資源化している。リサイクル原料として敬遠されがちな金属プラスチック複合物も独自開発の高性能特殊金属破砕・選別機によりゼロエミッション処理を



実現。また、磁力選別、篩（ふるい）選別、過電流選別などにより、高純度の鉄や非鉄金属（銅、アルミ、ステンレスなど）を分離し、再資源化している。

続いて訪れた「ニコン・水戸製作所」では、はじめに、同社の水戸製作所長 和田氏のご挨拶後、会社概要と施設をご案内いただいた。ニコン・水戸製作所では、ニコングループのカメラ、半導体、顕微鏡などを製造するための装置である生産機



械、治工具類の開発及び製造と、官公庁等からのオーダーによる望遠鏡関連機器や理化学機器の特注品の開発及び製造という2つの事業を行っている。水戸製作所が製造する生産機械は世界各地の工場で使用されており、

ニコングループの高い品質、精度を維持することに貢献。また、特注品製造で培われた技術は、その後の量産技術にフィードバックされており、生産技術拠点としての役割も負っている。

参加者からは「地球環境に配

慮しているリサイクル活動に加え、地域に密接した社会貢献活動の取組みについて学ぶことができた」などの感想が寄せられ、今回の見学会を通じて、参加者同士が積極的に情報交換をするなど、交流を深め散会した。

## 支部だより

AUG. 2012

Branch office report

### 水戸地区支部

### 水戸市長との懇談会を開催

水戸地区支部（支部長 西村寛氏（株）水戸京成百貨店代表取締役社長）は、7月9日（月）、茨城県産業会館大会議室において、高橋靖水戸市長をお招きし、行政懇談会を開催した。当日は、会員・非会員含め54名が参加した。

高橋市長との懇談会は、昨年度に引き続いて、2回目。今年度は、高橋市長の意向を踏まえ、講演テーマを参加申込書のアンケートで決定。「魅力発信の戦略的な観光振興」、「中心市街地

としての再生」、「環境調和都市の構築」の3テーマについてご講演をいただいた。

高橋市長からは、それぞれのテーマ毎に約20分間の基調講演をいただき、その後、質疑応答が行われた。

質疑応答では、参加者から講演内容に対する意見や質問が活発に出され、高橋市長は1つ1つ丁寧に回答されながら、

個別の意見については、「そういう考え方もあると参考になった。頭に入れて持ち帰りたい。」と熱心に応じていた。



### 水戸地区支部

### 交通事故をめぐる企業の責任と対応策を学ぶ

水戸地区支部人事労務担当者会議（代表幹事 市毛敏明氏（株）茨城木材相互市場 総務部長）は、7月19日（木）、



公開セミナーを開催した。

本セミナーでは『交通事故（自動車事故・自転車事故）をめぐる企業の責任と対応策～組織を守るための知識と対応策をわかりやすく学ぶ～』と題し、交通事故対応に精通した弁護士の中根浩二氏より指導いただいた。

中根氏は、あお空法律事務所を開所し、日弁連研修センター副委員長、愛知県弁護士会研修セン

ター副委員長など各方面で活躍しており、主な専門は、企業法務・保険請求・不動産関連などである。

本セミナーの内容は「自動車事故が発生した場合の具体的な対応策」、「自転車事故について」、「社内の管理体制の整備」とし、最近の判例や社有車とマイカーの関連規定の作成などについて解説いただいた。

参加者からのアンケートでは「飲酒を含めた交通事故が多い世の中なので、会社規則を見直

し、今の時代に沿った規則作りの手掛りになった」、「法律知識だけでなく、実際の経験などに基づいた事例の説明で分かりや

すかった。マイカー通勤、業務用運転を許可することは、会社として大きなリスクを背負うことが良くわかった」、「法律的内

容を交え、人事・労務の見地から説明されており、新たな情報・知識が吸収でき身近に感じた」などの意見が寄せられた。

## 県西地区支部

## 経営研究会を開催

県西地区支部(支部長 大野充敬氏 日立化成工業(株)理事 下館工場長)は、7月19日(木)、ダイヤモンドホール(筑西市)において、経営研究会を開催した。

今回は、欧州の金融危機、円高の進行などで先行きの不透明な日本の景気・経済について、その正確な経済予測で定評のある、アセットベストパートナーズ(株)代表取締役の中原圭介氏から、「今後の世界経済と日本への影響～近未来予想と日本を豊かにする方法～」と題して、ご講演いただいた。

講演では、「欧州もアメリカも、財政再建と景気回復という両立し得ない課題を抱え苦しんでいる。また、アメリカの企業業績はアップルとIT分野に依

存しており、アップルもIT分野も売上げが増えても雇用に反映されにくいため、先行き不安が高まっている。日本は輸出大国であり、米欧中の経済動向に大きく左右される。しかし、過大評価された円相場が円安基調に転換する局面を迎えれば輸出企業を中心に日本経済は急激に回復する」と分析、また、「日本を豊かにするためには、農業・医療・観光を成長産業に育てる事が大事である。農業については、新興国で中間層が増えてくれば、安全性の評価が高い日本の農産物のニーズは確実に高まり、輸出による外貨獲得と若者の雇用を生み出せる

可能性がある。医療分野は多くの規制が緩和されれば海外からの医療ツアーなど大きく伸びる余地がある。観光で、日本はシンガポールや台湾より低い100億の概算予算しか取れていないが、海外からの観光客がもたらす経済の波及効果は非常に大きいので、予算を集中していく事が大切である」と強調した。



## 取手・龍ヶ崎地区支部

## 紫峰会総会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部(支部長 福地博之氏 キリンビール(株)取手工場長)の紫峰会(代表幹事 増田昭秀氏 (株)東京鉄骨橋梁 取手工場 労政課長)は、6月28日(木)、キリンビール・取手工場「会議室」において平成24年度総会を開催し、23年度の活動報告、24年度の活動計画(案)、24年度の役員(案)について協議・検討した。

本年度の代表幹事には、岡田正裕氏(キリンビール(株)取手工場 総務担当部長補佐)がくり返し就任し、新たな役員体制が

下記のように承認された。

なお本年度は、自社の経営に活かせるヒントを学ぶ機会とし

て、今注目されている企業や施設を実際に訪れる“臨地研修会”を開催することとなった。

### ◆24年度紫峰会役員

代表幹事 キリンビール(株)取手工場 総務担当部長補佐 岡田正裕氏  
幹事 キヤノン化成(株)本社・筑波事業所 総務部担当部長 猪瀬重雄氏  
〃 (株)小森コーポレーション つくばプラント 業務課長 前川由一氏

### ◆紫峰会メンバー募集のご案内

人事労務担当者会議(通称・紫峰会)は、取手・龍ヶ崎地区支部エリアの会員制による、人事労務分野での生の情報交換会、相互啓発、企業見学及び懇親会などの事業活動を行っております。人事労務問題に対する企業の対応策や日常の問題解決に向けたヒントを得られる場としてご活用いただければ幸いです。事業活動の内容など、興味のある方は下記までお問合せください。

・TEL: 029-221-5301、E-MAIL: usui@ikk.or.jp  
・一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 薄井

## 古河・坂東地区支部

## 平成24年度第1回役員幹事会を開催

古河・坂東地区支部(支部長 須藤盛夫氏 須藤製糸(株)取締役社長)は、7月5日(木)古河市「ザ・カナルハウス」において、平成24年度第1回役員幹事会を開催し、須藤支部長、太田実副支部長(京三電機(株)取締役社長)、老川正昭副支部長(積水ハウス(株)常務執行役員関東工場長)出席のもと、野口享治幹事長(京三電機(株)人事室長)の進行で協議が進められた。

本会合では、23年度の事業活動報告ならびに24年度の事業活動計画の具体化について検討。24年度の主な計画では、正副支部長の出席の下、経協活動等について意見交換および会員交流に努める「支部総会」、優良企業に実際に訪れ、自社の経営に活かせるヒントを学ぶ「優良企業視察会」、労働問題に関する知識を深め、職場に

おける労働問題の解決策を学ぶ「労働法セミナー」などの事業活動について協議検討した。



## 鹿行地区支部

## 行政懇談会を開催 首都直下型地震の被害想定と対応策を学ぶ

鹿行地区支部(支部長 木村和弘氏 住金鉱化(株)代表取締役社長)は、6月26日(火)、鹿島セントラルホテルにおいて、行政懇談会(災害対応講演会)を開催した。

初めに、木村支部長が、「東日本大震災から1年3ヵ月が過ぎたが、まだまだ復旧は道半ばである。そういう中、企業でも町内会や自治会でも次に地震や

津波が来た時にどのような備えをすべきか検討を始められていると思う。その中で良く話題となるのは、『地震はどういう可能性があるのか』『どれ位の規模のもの来るのか』である。今回は、防災科学技術研究所との共催により、同研究所の2氏からその可能性と被害想定、企業として必要な視点・対策をお話しいただけるので、是非企業や自宅で参考にしていただきたい」と挨拶。

最初に、防災科学技術研究所災害リスク研究ユニット研究員の長谷川信介氏より「首都圏直下型地震の可能性と茨城県沿岸地域への被害想定について」と題し、

関東周辺の地震環境、茨城県沿岸地域の地震・津波ハザードなどについて、具体的にお話いただいた。

続いて、防災科学技術研究所客員研究員の水谷武司氏より「首都圏直下型地震に備えるために企業として必要な視点・対策」と題し、対策の基礎となる地域土地環境や災害情報を中心にお話いただいた。

アンケートでは、「誰もこれでOKなどと言えない。地域の特性・環境を整理し、可能な対応を明確にしておく必要性を感じた」「企業立地の条件の話などは参考になったが、立地した上での対策についてもう少し聞きたかった」などの意見が寄せられた。



## 共催セミナー

## マナーアップ&amp;クレーム対応セミナーを開催

当協会は、全支部共通で若手社員の方々を対象とした「マナーアップ&クレーム対応セミナー」を7月12日(木)に茨城

県産業会館にて開催し、64名が参加した。

本セミナーでは、当協会の土浦・石岡・つくば地区支部の会

員である(株)EMMY(エミー)代表取締役の渡辺満枝氏を講師としてお招きした。

研修内容では、挨拶・姿勢・

服装・身嗜み・言葉遣いなどの一般的なマナーに加えて、場面によって実践すべきマナーとして、電話対応・来客対応・案内誘導の仕方・訪問マナー・名刺交換・お茶の出し方・席次などの多種多様なビジネスマナーであった。また、クレーム時の心構えと対応の仕方なども学び、実際にクレームが起きた場合に使いたい言葉と使ってはいけない言葉などについても指導いた

だいた。

受講者からの意見(アンケートより抜粋)として「何気ない行動が相手に嫌な思いをさせているという事に気がつき、普段自分で良いと思っていた行動を改めるきっかけとなりました」、「マナーのひとつひとつに意味があり、相手に好感を与えることでさらに信頼関係が生まれるということも分かり、本当に参

考になりました。隣の人と各種のマナー実践は緊張したのですが、現実に近い形で練習ができました」などの意見が寄せられた。



## 共催セミナー

## 職場リーダーグレードアップセミナーを開催

当協会は、全支部共通で7月18日(水)、水戸市のフェリヴェールサンシャインにて、職場リーダーグレードアップセミナーを開催した。参加者人数は65名。

本セミナーでは『部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ～部下育成のコーチングとメ

ンタルヘルスマネジメントなどを学ぶ～』と題し、毎年受講生から好評の(株)ビジネスラポール代表取締役の鈴木丈織氏より指導いただいた。

セミナーの内容は「部下のコーチング指導」、「部下への指示を上手にするコツ」、「メンタルヘルスマネジメント」などを「講義」と「グループディスカッション」を通じて学んでいった。

参加者からのアンケートでは「職場のコミュニケーションと雰囲気作りが重要であることを再確認できた。先生のパワーのすごさ

にびっくりし、リーダーとしての在り方やメンタル面のポイントをかみ砕いて説明していただいたので大変勉強になった」、「ストレスを感じる仕事でも、コーチングによりパワーを引き出すことが可能であることを学べたのは最大の成果であった。他業種の人との会話を通して、悩みの解消や知識の吸収につながられた」、「自分の心のモチベーション、人と人との会話、勇気と感性、知力の持ち方で部下の心を左右してしまう事に気づきました」など、講師からの講義やグループディスカッションから認識を深めた参加者がいた。



## 県内各地で産学懇談会・名刺交換会が開催

6月26日を皮切りに、県内5ブロックで産学懇談会・名刺交換会が開催された。当事業は、来春卒業予定の高校生の採用を計画している企業の人事採用担当者と、県内高校の進路指導担当の先生方が一堂に会し実施されるもので、茨城県産業教育振興会との連携により毎年開催されている。

懇談会では、出席企業から来

春の採用計画や最近の若者の就業意識について意見がだされ、参加高校からは各校の就職希望生徒数や希望職種等について情報交換が行われた。両者とも、早期退職など就業意識の希薄化が見受けられる最近の傾向について大変危惧しており、日頃より情報交換を密にするなど、一層

の連携を進めていくことが確認された。



## 支部役員・幹事の方々

当協会では、各地区支部役員・幹事の任期満了に伴いまして、下記の方々に各役職を委嘱をしました。  
(任期は2年、敬称略)

### 県北地区支部

支部長	三浦 利春	(株)茨城サービスエンジニアリング 代表取締役社長
幹事長	大高 利夫	(株)中村自工深川製作所 取締役工場長
幹事	村田 文彦	(株)五浦観光ホテル 専務取締役
"	坂本 英治	茨城プレイング工業(株) 代表取締役
"	小川 幸則	小川産業(株) 代表取締役社長
"	三田 朋尚	JX日鉱日石金属(株)磯原工場 総務部総務担当課長
"	鬼澤 俊久	(株)常陽銀行 磯原支店長
"	大平 敏明	太平産業(株) 代表取締役社長

### 日立地区支部

支部長	土屋 静治	日立電鉄交通サービス(株) 取締役社長
副支部長	館岡 司	(株)日立製作所日立事業所 総務部長
"	深澤 正勝	日立セメント(株) 取締役専務執行役員
"	中田 弘章	JX日鉱日石金属(株) 取締役常務執行役員日立事業所長
幹事長	水出 浩司	(株)日立製作所日立事業所 総務部庶務課長
副幹事長	河西 隆史	(株)日立ライフ 経営管理本部総務部長
"	近藤 克行	日立電鉄交通サービス(株) 総務部庶務グループ部長代理

### 常陸・那珂地区支部

支部長	柳生 修	コロナ電気(株) 代表取締役
副支部長	三代 正夫	センター電機(株) 代表取締役
"	若狭 文雄	(株)日立エレクトリックシステムズ 取締役社長
幹事長	今泉 良	(株)日立製作所都市開発システム社 総務部長
副幹事長	加藤 理佳	日立工機(株) 総務部部長代理
幹事	藤井敬次郎	茨城グリコ(株) 総務課課長
"	大友 光広	(株)常陽銀行ひたちなか支店 副支店長
"	雲井 修一	日本原子力発電(株)東海事務所 渉外グループマネージャー
"	岡本 敬之	日立オートモティブシステムズ(株) 総務部長

幹事	北西 健	(株)日立ハイテクノロジーズ那珂地区 生産本部人事勤労グループ部長代理
"	内池 一雄	(株)ルネサスエレクトロニクス那珂事業所 総務部長

### 水戸地区支部

支部長	西村 寛	(株)水戸京成百貨店 代表取締役社長
副支部長	太田 正明	茨城倉庫(株) 取締役社長
"	吉久保 富美	(株)一品 代表取締役
"	黒澤 輝子	(株)クロサワ眼鏡店 代表取締役
"	幡谷 史朗	茨城トヨタ自動車(株) 代表取締役社長
幹事長	和田 正通	(株)ニコン水戸製作所 所長
副幹事長	関 猛	ネットトヨタ水戸(株) 専務取締役
"	谷津 幸男	茨城倉庫(株) 取締役総務部長
幹事	阿部 重典	茨城放送(株) 業務局次長
"	篠原 友幸	いばらく乳業(株) 総務部長
"	木元 由孝	株木建設(株)茨城本店 取締役常務執行役員本店長
"	五十嵐 力	(株)関電工 茨城支店 総括部長
"	黒澤 篤行	(株)常陽銀行 常務執行役員本店営業部長
"	猪股 真純	日本原子力発電(株) 茨城総合事務所 総括・渉外グループマネージャー
"	木村 善康	東日本電信電話(株) 茨城支店 総務課長

### 土浦・石岡・つくば地区支部

支部長	徳川 義和	日立建機(株) 執行役常務生産・調達本部長
副支部長	沼尻 年正	沼尻産業(株) 代表取締役社長
"	吉村 昇	べんてる(株) 取締役茨城工場長
"	佐藤 芳男	関東鉄道(株) 専務取締役
幹事長	内田 勉	(株)カスミ 常勤監査役
副幹事長	氏家 健明	日立建機(株) 土浦工場総務部副部長
幹事	吉原 実	キヤノン(株) 阿見事業所人事部長
"	清水 勉	(株)常陽銀行 土浦支店副支店長
"	金田 芳夫	筑波学園ガス(株) 経営企画部長
"	古河 利弘	(株)筑波銀行 人事部部長代理
"	福井 健二	東日本三電線(株) 取締役ビジネスサポート部長
"	湯原幸市郎	中川ヒューム管工業(株) 取締役生産本部長

幹事 北村 健司 (株)日立プラントテクノロジー  
社会・産業システム事業本部総務部長

" 鈴村慎一郎 日立電線(株) 土浦工場土浦総務部長

" 中山 康 プリマハム(株) 茨城工場総務課長

## 取手・龍ヶ崎地区支部

支部長 福地 博之 キリンビール(株) 取手工場長

副支部長 鹿島市右衛門 カガミクリスタル(株) 代表取締役社長

" 原 一郎 キヤノン(株) 人事部 取手人事部長

幹事長 曾根 彰 総合建物サービス(株) 顧問

副幹事長 友池 泰介 日本メクトロン(株) 業務本部副部長

幹事 佐藤 孝 (株)アドバンス 代表取締役

" 増田 満 (株)太田胃酸 茨城工場 生産管理グループマネージャー

" 谷口 啓介 キヤノン(株) 人事部 取手人事課長

" 福井 武宏 キリンビール(株) 取手工場 総務担当部長

" 松本 弘 (株)常陽銀行 取手支店長

" 池内 伸夫 (株)常陽銀行 竜崎支店長

" 波多野真哉 日本通運(株) 茨城支店 次長

## 県西地区支部

支部長 大野 充敬 日立化成工業(株) 下館事業所長

副支部長 塚本 博 NC東日本コンクリート工業(株) 取締役社長

" 西田 吉賢 (株)スミハツ取締役管理本部長

幹事長 小島 守 関彰商事(株) 人事部長

副幹事長 古川 耕一 日立化成工業(株) 下館事業所 下館管理センター長

幹事 菅原 琢也 (有)茨城県西自動車学校 常務取締役

" 松村 隆夫 キヤノンファインテック(株) 茨城工場 総務担当部長

" 飯塚 勝夫 (株)協立製作所 総務部長

" 石田 幸裕 (株)常陽銀行下館支店 副支店長

" 内田 好久 (株)スミハツ管理本部 総務部長

" 大野 豊 NC東日本コンクリート工業(株) 労務グループマネージャー

" 高島 永幸 日本ハム(株) 茨城工場 設備保全課課長

## 古河坂東地区支部

支部長 須藤 盛夫 須藤製糸(株) 取締役社長

副支部長 太田 実 京三電機(株) 取締役社長

" 老川 正昭 積水ハウス(株) 常務執行役員関東工場長

幹事長 野口 享治 京三電機(株) 人事室長

副幹事長 井上 勉 関東通運(株) 常務取締役

" 古谷 孝 (株)古河第一自動車学校 総務部長

幹事 落合 和好 金澤工業(株) 執行役員総務部長

" 浜野 重雄 キヤノンセミコンダクターエキップメント(株) 総務部担当部長

" 新川 智也 三桜工業(株) 総務部長

" 廣瀬 譲治 (株)常陽銀行 古河支店副支店長

" 須藤 康之 須藤製糸(株) 専務取締役

" 村田 定雄 積水ハウス(株) 関東工場総務部長

" 内藤 忠志 H A R I O(株) 専務取締役古河工場長

" 落合 威夫 北進産業(株) 取締役総務部長

## 鹿行地区支部

支部長 木村 和弘 住金鉱化(株) 代表取締役社長

副支部長 替地 享二 鹿島都市開発(株) 代表取締役社長

幹事長 平野 清一 住友金属物流(株) 鹿島事業部 総務課担当課長

副幹事長 石崎 光 住友金属プラント(株) 総務グループ長

幹事 伊藤 敏和 鹿島石油(株) 鹿島製油所 総務グループ担当マネージャー

" 下河 茂樹 鹿島都市開発(株) 総務部参事

" 石井 修一 (株)常陽銀行 執行役員鹿島支店長

" 三宅 裕貴 住友金属工業(株) 鹿島製鉄所 総務室長

" 原 一也 (株)タイヨー 総務部長

" 柳 朋之 (株)トクヤマ鹿島工場 総務課長兼環境安全課長

" 木内 正樹 日石興産(株) 代表取締役

" 鶴田 逸朗 日本メクトロン(株) 鹿島工場 業務二課長

" 原 謙次 (株)ハラキン 代表取締役

" 安達 圭逸 藤井建設(株) 取締役安全環境部長



経営教育委員会委員長

植木誠氏



(株)筑波銀行  
代表取締役副頭取

県北地区支部支部長

三浦利春氏



(株)茨城サービス  
エンジニアリング  
代表取締役社長

水戸地区支部副支部長

幡谷史朗氏



茨城トヨタ自動車(株)  
代表取締役社長

青年経営研究会会長

関 正樹氏



関彰商事(株)  
代表取締役社長

事務局への出向者就任のご紹介

7月30日付で(株)常陽銀行様より篠原崇邦氏を協会事務局にご派遣頂きました。  
平成26年7月末までの2年間協会運営にご協力頂きます。



篠原崇邦氏

7月30日から2年間、事務局として勤務します篠原崇邦と申します。経営者協会での担当業務は、委員会の担当として、総務委員会、地域関係委員会、労働企画委員会、科学技術特別委員会、支部の担当として、県北地区支部、土浦・石岡・つくば地区支部、県西地区支部となります。また、茨城産業会議の運営についても担当致します。

至らない点が多くご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、何卒宜しくお願い致します。

## 天職は与えられるもの？

株式会社カスミ 常勤監査役 内田 勉 氏

私は今から36年前にカスミに入社しました。入社してから最も記憶に残っているのは、28歳の時、筑波店店長になった時の出来事です。当時の私は“部下は上司の言うことをきくものだ”と考え、やり方は強引で命令さえすれば良いと思っていました。相手の立場に立って考えることができませんでした。その時、女性のパート社員に「店長さん、あなたは自分勝手過ぎるよ」と諭されました。人のことなどお構いなし、自店の業績が良ければいい、と考えていた私に、リーダーとは何をすべきか、パート社員に教えていただいたことは、今でも大変感謝しています。

スーパーマーケットは、人が生活するための必要な食物を扱う安定した仕事で、永遠に不滅です。商圈エリアは半径3kmと狭く、そのエリアにお住まいのお客様が週1～3回お越しいただけます。また接客業でもございますので、社員自身もある意味“商品”と言えます。悪い噂があればすぐに広まりますし、誤魔化しのきかない商売です。

就職活動は、自分を知り将来を考える絶好の機会です。選択肢の多い時代ですが、自主自立自己責任で進んでいくのです。



何事もまずやってみる、そして本気で一所懸命に取り組むことが大切です。このサイクルを続けると、もっとやりたくなりますし、もっと知りたくなります。そして次第に、自ら工夫を始め、新たなチャレンジに取り組んでいでしょう。

私は自分が就いたこの仕事を天職だと感じていますし、また生まれ変わったらこの仕事に就きたいと思っています。スーパーマーケットの仕事は、誰かの為に尽くしたい・役に立ちたい、と思っている方にとって素晴らしい仕事です。

私自身も、他人の喜びを自分の喜びと感じられるようこれからも仕事に取り組んでいきたいと思っています。天職とは与えられるものではなく、自分で天職にする

ものなのです。

## 知的財産

### (1) 会社内に設けたい「職務発明」

“こちら特許部”

日峯<sup>につぼ</sup>国際特許事務所

弁理士 高田 幸彦

#### 質問!

常陸太田市にある圧延機メーカーの社長さんから特許出願を奨励していくに当り、職務発明の規定を整備していきたいので、職務発明

の規定を作成するに当たっての留意点を教えてほしいとの要望がありました。



職務発明の規定を作成するに当たっての留意点を教えてほしい

圧延機メーカーの社長さん

#### Answer

特許法第35条に職務発明についての規定がなされています。この職務発明の規定によりまずと職務発明については契約書あるいは社内規定でもって特許を受ける権

利を予め会社に帰属させることが出来ること、会社に帰属させた場合には相応の補償を発明者にすべきことが規定されています。そして、職務発明に属しない自由発明を会社に帰属させることは出来な

いとしています。



知的博士

#### 【弁理士よりワンポイント】

職務発明の規定で重要なポイントは、

- 1) 職務発明の範囲
- 2) 職務発明の会社への帰属
- 3) 会社へ帰属させたときの発明者への補償
- 4) 自由発明が会社に帰属する旨を定めた規定の無効ということになります。

特に、3)の発明者への補償を定めた規定は重要です。多くの会社では、イ)発明の届け出があった時、ロ)特許出願がなされた時、二)社内実施した時、ホ)ローヤルティ収入等の活用があった時の5つの時点で補償を行っています。

発明の届け出があった時には、数千円、特許出願がなされた時には数万円、特許登録がなされた時に数万円、社内実施した時には実施額に対応して数万円から数

十万円、ローヤルティ収入があった時には、その数%というように規定しているようです。特に有効な特許で、会社への貢献が大きい時には、上限を決めておかないで、随時判断するようにしている会社もあります。

補償の額で会社と発明者との間でめたような時には社内に設けた委員会で解決できるようにしておくことも大切です。また、発明者が複数である場合における支払い金の分配の方法、例えば発明に寄与した程度に対応した分配の方法を規定しておきましょう。

社内実施している場合の補償については、実施している限り毎年の支払いとなります。発明者が退職したような場合でも支払いを行いましょう。

自由発明については、その自由

発明が会社の業務に関係しているような場合には話し合いで買い取り得るようにしておくのがよいと思われます。職務発明の規定で設け、社内公表致しますと、発明しようとするインセンティブがかなり強く作用することでしょう。これによって製品が改良されていきますので、職務発明の規定を設けることは経営者にとって極めて大切な対策となります。

特許について説明致しましたが、実用新案、意匠の場合も同様です。商標についても規定を設けておくのがよいと思いますが、商標の場合は、後述する「報奨」するのがよいと思われます。最近では、「ノウハウ」を創造した人に対しても一定の金額を支払うようにしている会社もあります。

## (2) 「補償」と「報奨」

### 質問!

先の圧延機メーカーの社長さんから、「補償」と「報奨」との違いについて問合せがありました。ま

た、「報奨」とはどのような場合にするのがよいのかという問合せがありました。



「補償」と「報奨」  
との違いについて  
知りたい

圧延機メーカーの社長さん

### Answer

「補償」は、先に説明しましたように、「職務発明」を会社に帰属させたときには、発明者に当然に支払われるべき対価です。この

対価が支払われませんと、特許法第35条の規定に違反することになります。

「報奨」は、会社の発展のために発明をなし、特許を取得するこ

とを奨励するために設けられる恩典というべきものです。



知的博士

### 【弁理士よりワンポイント】

会社の発展のために貢献した特許が選定され、報奨金を支払うことになります。一度切りというケースもありますし、貢献毎に支払うというケースもあります。貢献があった時には当然に「補償」がなされますから、「補償」との兼ね合いを考慮することになります。特許が取得され、会社の業務に貢献するには発明者の努力も必要ですが、営業マン、交渉担当者等の方々の尽力も忘れることはできません。会社によっては、この方々に活用貢献賞として一定の金額を支払っているところもあるようです。また、外国出願がなされ、外国で取得した特許が会社の

業績に貢献したような時には国内の「補償」、「報奨」とは別に「補償」、「報奨」をするようにしている会社が多いようです。

「報奨」は、会社の貢献に対応して予め定めた報奨規定に沿ってなされることにはなりますが、数段階に分け、最上位段には100万円以上の報奨がなされ、最下位段には数十万円とするところが多いようです。

多くの会社が、発明者が退職後に「補償」の額が会社が得た利益に比べられた余りに低額であることを理由に訴えられました。いくつかのケースでは発明者の訴えが認められて「補償」すべき旨の判

決がなされております。社内規定をしっかりと作っておくことが大切であることが判ります。

海外に合併で会社を設けた場合にあっても、「職務発明」、「補償」、「報奨」の規定をしっかりと設けておきましょう。

特許を受ける  
権利の譲渡

相当の対価の  
支払い



発明者

会社

知財博士 kawano-Fotolia.com

質問者・弁理士 Kamiya Ichiro-Fotolia.com

その他 イラスト AC

### 無料発明・特許相談会

主催 (社)茨城県経営者協会

派遣相談員: 弁理士 高田 幸彦

相談方法: 相談される企業訪問又は  
経営者協会

期 間: 2012.4.1 ~ 2012.9.30

### 追加説明テーマ募集のお知らせ

知財に関する説明テーマは、今回のテーマを含めて12テーマ予定しています。

知財に関して説明を要望するテーマがあります場合には、事務局までお知らせ願います。

## NPO情報

NPO information

Vol.142

NPO活動では、孤立しがちだったり、普段は接点がない人たちが仲間になったり、互いに助け合える関係をつくることを大切にしています。今回は最近、コモンズが取り組んでいる活動をいくつか紹介します。

### ●福島避難者の仲間づくり

水戸に開設したふうあいステーションは、茨城に避難している福島県などの方約3800名に地元の情報を提供したり、避難でバラバラになった方の仲間づくりを支援しています。拠点には、福島の方が来所するだけでなく、水戸の学生が子どもの学習支援を申し出たり事業者からも支援の話が寄せられています。また県内各地で支援している20ほどのグループでふうあいネットを組織し、各地で行っている避難者の茶話会の情報をまとめて避難されている世帯に届けています。福島の方々の自助グループも徐々に増えてきています。

### ●母親グループのつながり

原発事故以後、放射線のこどもへの影響を心配する母親のグループが県内各地にできまし

## NPOの仕事はつながりづくり

### ～ すべての人に居場所と出番を

茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事 横田 能洋

た。その横のつながりを深める目的で7月に「福島被災者がみたチェルノブイリ」という集いを開催しました。長年チェルノブイリの子どもの医療支援をしているNGOの方と、今年現地を訪問した南相馬と飯館の市民の体験や想いを聞く会でした。森などの汚染場所に近づかない、健診を欠かさずうける、食品検査を徹底する、過度に心配してストレスをためないなど1986年の事故から今でも続いているチェルノブイリの人々の暮らしを直に見聞きした人の話は、不安な日々を送っている人にとっても参考になる話でした。判断はそれぞれがすることだとしても、思っていることが話せる場をつくることは大切です。

### ●外国籍の青年の交流

前回紹介したように、外国にルーツがある生徒や若者は進学や進路の面でハンディをかかえています。夏から常総でスタートする中学生向けの補習クラスは、ボランティアと生徒たちがつながる機会です。また、日本育ちのブラジル人が多い常総

で、若者が集い、自分たちのおかれている状況や想いを社会に発信したり、社会への参加を深めるプロジェクトを立ち上げます。

### ●いばらき未来基金

NPOが上記のようなつながりづくりを継続する際には、コーディネートするスタッフの人件費の確保が課題になります。そのような活動資金を社会から集めるためにつくるのがいばらき未来基金です。多くの人、事業所に寄付活動に参加いただくことも、何かしたいと思っている人と、地域課題に取り組んでいる人のつながりをつくる営みです。

契約成約1件につき100円寄付する、商品代に寄付分を含めた寄付つき商品を販売する、店舗や職場に募金箱を置く、給与の端数を寄付するクラブをつくる、周年行事で寄付などの多様な方法が選べます。職場のモチベーション向上や、顧客の支持や売上増などメリットも見込めます。ぜひ基金づくりにご参画下さい。(詳しくはコモンズへ029-300-4321)

### 1. セミナー

セミナー名	日 時	テーマ	講 師	会 場
第11期 マネジメントマスターコース	②9月19日(水) ③10月11日(木) ④11月22日(木) 13:30～17:00 全講 28,000円 単講 8,000円	経営幹部の役割、責任、必須事項をテーマ毎に学ぶ ② 理念(想い)を実現する経営 ③ 組織を活性化する経営幹部の行動 ④ 会議を変えれば組織が変わる!～価値を生み出す「創造的会議術」～	②株ヤマオコーポレーション代表取締役 鬼澤 慎人氏 ③人と経営研究所 所長 大久保 寛司氏 ④NPO法人日本ファシリテーション協会前会長 徳田 太郎氏	茨城県 開発公社ビル
営業社員セミナー	8月23日(木) 9:30～17:00 7,000円	新規開拓・飛込み営業の極意～仕事がデキる人がおさえている営業の鉄則	浦上 俊司氏	水戸プラザ ホテル グリーンルーム
第2回ヒューマンエラー防止セミナー	10月5日(金) 9:30～17:00 7,000円	錯覚や行動を把握し、重大事故を防ぐポイント	関西大学 社会安全研究科教授 中村 隆宏氏	茨城県 開発公社ビル
経理セミナー (基礎編)	11月8日(木) 9:00～16:30 8,000円	わかりやすい! 経理の基礎講座	木村税理会計事務所 所長 木村 聡子氏	茨城県 産業会館 大会議室
経理セミナー (応用編)	11月15日(木) 9:00～16:30 8,000円	簡単にわかる! 決算書の見方・読み方	財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一氏	茨城県 産業会館 大会議室

問合せ 社団法人 茨城県経営者協会  
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階  
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109  
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)